

未来を創る教員養成セミナー

県の教育課題と 教師に求められる力

群馬県総合教育センター
研究企画係 天田 直木

1 群馬県教育ビジョンについて (第4期群馬県教育振興基本計画)

**群馬県教育ビジョンの
策定に向けた想い**

【児童生徒の皆さんへ】

自分も、みんなも、幸せになろう——それが、この「群馬県教育ビジョン」(第4期群馬県教育振興基本計画)に込めた願いです。

皆さんの人生をどのようなものにしたいのかを選択し、決めていくのは、他でもない皆さん自身です。私たちは、日々の生活や学びを通して、自分を知り、自分の強みや弱みを理解し、試行錯誤を重ねて、時には失敗しながらも、より良い自分と幸せを求めて生きています。

そして、私たちは、自分の人生の主人公であると同時に、自分が生きているこの「社会」の一員でもあります。

児童生徒の皆さん——時に、「子ども」と呼ばれる皆さんもまた、「大人」と同じ「社会」を形成している主体(メンバーの一人)なのです。

ニュースやSNSの中で、「社会が悪い」、「社会のせいだ」という主張を目にしたことはありませんか? 「社会が悪いのだから仕方がない」、「社会なんて変えられない!」そんなふうには感じていませんか?

けれど、「社会」というものは、「自分以外の誰か」のことではありません。

誰かが勝手に決めてくれているから、自分ではどうしようもない——そのように思うことはありません。何故なら、社会を構成するメンバーの一人である皆さんは、「社会」を変える力を持っているからです。

一人きりで今すぐに社会を変えることは難しいかもしれませんが、それでも、周りの人と話し合い、協力し、より良い解決策を探しながら行動していくことで、「変化」を生み出すことは可能です。

人は、誰しも、生まれついて、自分と社会をより良くしようと願う心や、そのために必要な力を持っています。

この計画の内容を考えるときに、高校生と大学生が参加するワークショップを行いました。ここでは、「後輩に引き継ぎたい理想の学校はどんな学校か」、「学校に留まらない、これからの未来に向かう学びは、どのようなものになるとよいか」について意見を出し合いました。「生徒が主体的に動ける学校になるとよい」、「自分に合わせて意欲的に学べて、先生がサポートしてくれる環境が多くなるとよい」、「横(学校や各自のコミュニティ)や縦(年代)の広がりのある学びになっていくとよい」といった意見が多く出しました。

こうした「自分とみんなのために動きたい」、「そのために自分の意志で学びたい」という気持ちを伸ばしていくのか、それとも振ねてしまうのか。それは、皆さん自身の考え次第です。また、周りの大人の関わり方や環境によっても変わるでしょうし、そこには教育の在り方も大きく影響すると考えています。

群馬県教育ビジョンでは、児童生徒の皆さんを「一方的に教えられる、守られるだけの子ども」とは考えません。皆さんそれぞれ年齢や状況に応じて、自分の頭で考え、判断し、行動できるようになるための力を身に付けてほしいと願っています。

群馬県教育をより良いものにしていくために、更には、この社会をより良いものにしていくために、児童生徒の皆さんと私たち大人とが、共に力を合わせていけたら素晴らしいことだと思います。

群馬県教育委員会

群馬県教育ビジョンの本文はこちらの二次元コードから



**第4期 群馬県教育振興基本計画
群馬県教育ビジョン**
計画期間：2024年4月～2029年3月

最上位目標 自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて
—ひとりとひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成—

相談していいし、助けを求めてもいいんだよ
「学ぶ」って楽しい
試行錯誤しよう。失敗してもいいのだと知ろう。それが自分を強くしてくれるよ。
「オナメの関係」や「ゆるいつながり」も大事なんだよ
知らないことを知るの楽しいよ
リアルでも、デジタルでも色々つながり方いいよ
社会をつくるのも変えていくのも「誰か」じゃなくて「自分」だよ。
動き出しても仲間がいるよ
自分も、みんなも、幸せになろう

— これからの時代を生きていく私たちに必要なこと —
自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す
人は、誰しも、生まれついて **自分と社会をより良くしようと願う意志や原動力**を持っている。
○一人一人が、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す「自律した学習者」であること
○子どもと大人が、お互いを主体として認め合い、協力しながら社会を作っていくこと
○地域と、学校と、家庭が、協力して学びの場を作り、共に学び続けていくこと

現状の課題

- 私たちの(子どもたちの)主体性や社会参画への意識が低いとされるのは何故か?
- 良かれとの思いから、失敗しないように先回りして考えすぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力(エージェンシー)を損なっていたのではないか?
- これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要なのは、どんなものなのか?

2024年3月 群馬県教育委員会

計画期間：2024年4月～2029年3月

群馬県教育ビジョン

【最上位目標】

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会に向けて
～ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける
「自律した学習者」の育成～

ウェルビーイング
？



エージェンシー
？

☆ウェルビーイングとは

多様な個人が、それぞれの幸せや生きがいを感じられ、身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福だけでなく、生きがいや人生の意義等の将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

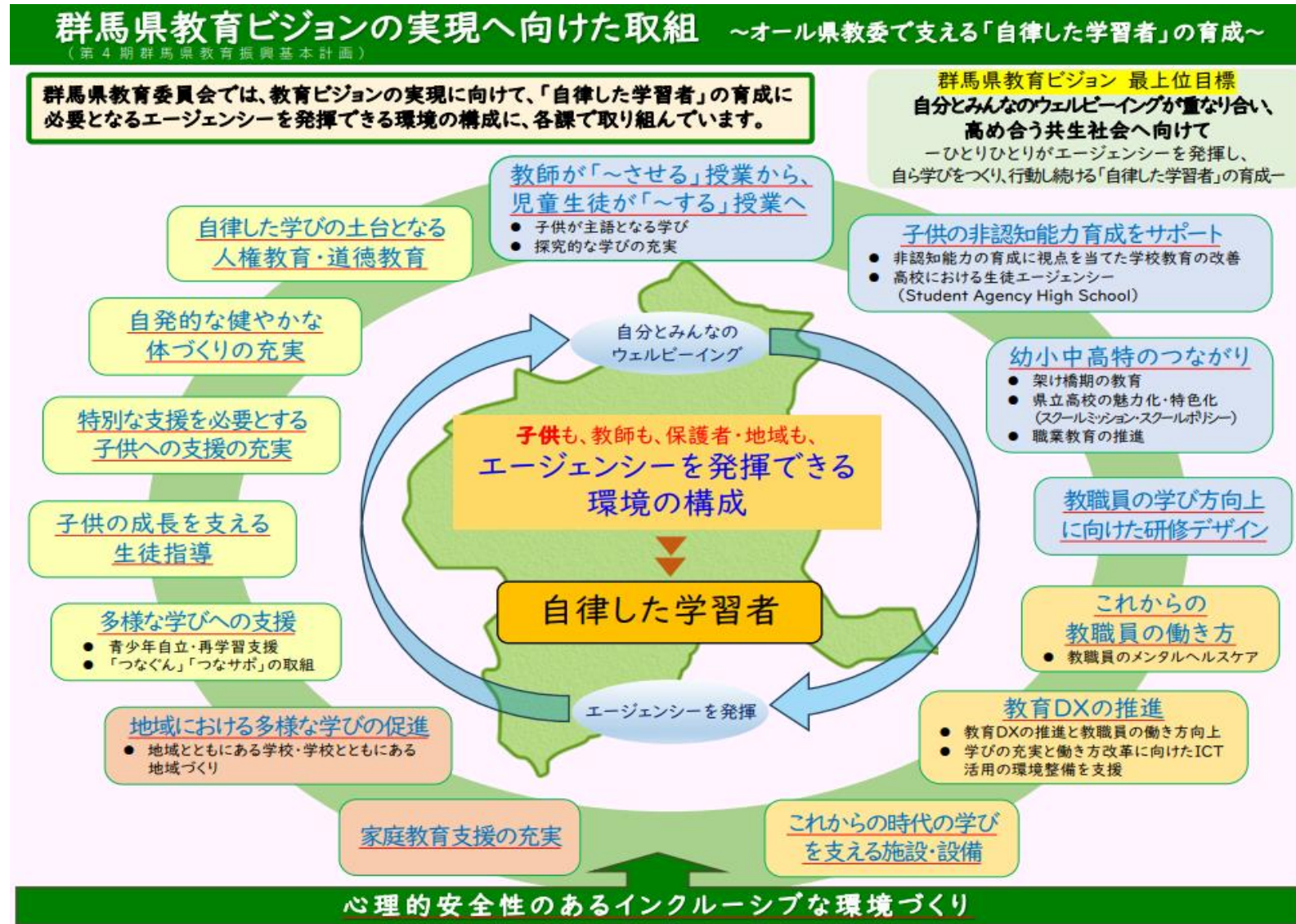
☆エージェンシーとは

人が誰しも生まれついて持っている自分と社会をより良くしていこうと願う意志、原動力。

自分も、みんなも、幸せになろう

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

2 教育の今日的な課題



○教師が「させる」授業から、
児童生徒が「する」授業へ
・子どもが主語となる学びの実現





○非認知能力の育成

- 「失敗を恐れない心」「人と関わる力」「自分で考え、行動する力」等、客観的な点数にしにくい能力を伸ばす
- 高校における「自ら考え、判断し、行動できる生徒」の育成（Student Agency High School）

○多様な学びへの支援

- ・インクルーシブ教育の推進
- ・学校を長期間欠席している児童生徒への支援



○教育DXの推進

- ・ICT活用による授業の充実、校務の効率化



○これからの教職員の働き方

- 教職員のメンタルヘルスケア
- 組織的な業務改善
- 教職の魅力向上



3 教師に求められる力

群馬県はこのような先生を求めています！

- 1 子供たちと共に成長し続ける教員**
- 2 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員**
- 3 幅広い視野と高い専門性を有する教員**

1 子供たちと共に成長し続ける教員

- 変わりゆく状況に柔軟に対応し、新しい物事にも前向きに取り組むことができる。
- 子供が中心の学びとなるよう、子供たちの学びをリードしたり支援したりする「伴走者」としての役割を果たすことができる。
- 子供たちを信じて、温かく励ましながら、「失敗を恐れない心」や「人とつながる力」、「自分で考え、判断し、行動する力」などを伸ばすことができる。



2 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員



- 教育的愛情と指導への情熱をもち、多様な考えや特性を認めながら子供たちの可能性を伸ばすことができる。
- 組織の一員としての自覚をもって連携・協力するとともに、互いに高め合うことができる。
- 郷土の歴史や文化、生活等について理解し、保護者や地域、関係機関等と連携・協働することができる。
- 高い倫理観と規範意識を備え、社会人として適切に判断して行動することができる。

3 幅広い視野と高い専門性を有する教員

- 教科等に関する専門的な知識や技能を有し、主体的・対話的で深い学びにより、子供たちに「たくましく生きる力」を育むことができる。
- 情報化やグローバル化など社会の変化をとらえ、専門性を高めるために日々努力し、学び続けることができる。
- 子供たちの実態や発達の段階を踏まえ、一人一人の多様性を尊重し、その可能性を最大限に伸ばすとともに、共生社会の形成を目指すことができる。
- 学校教育目標の実現に向けて、保護者や地域の思いや願いを生かしながら、組織的・計画的に教育活動を行うことができる。

